

吹上峠駐車場～登山口～急登途中から支線探索～大平山～鞍外し～
鉄管道～上穴～平尾石仏～吹上峠駐車場～馬の背台～吹上峠駐車場

吹上峠駐車場からの 大平山

2021年2月23日

今日は天皇誕生日。2日前の単独水晶山に引き続き、今日は家内と二人で大平山探索となつた。吹上峠に到着したのは11時30分。駐車場は満車で、数台の車が並んでスペースが空くのを待っていた。我々も並んで待つことに…。幸いにも待ち時間10分程で下山してきた登山者と入れ替わることが出来てホッとした。



ポカポカ陽気の中、大平山へ向かって歩き始める。

<コース概要>

1、吹上峠駐車場 11時50分～ 2、登山口～ 3、急登途中から支線へ～ 4、大平山～
5、鞍外し～ 6、鉄管道～ 7、下穴～ 8、平尾石仏～ 9、吹上峠駐車場～
10、馬の背台(途中で立入禁止)～ 11、吹上峠駐車場 15時06分



1、吹上峠駐車場 11時50分 スタート
到着は11時30分。満車の駐車場を待つこと10分。早々に支度を整えてスタート！



車道を渡る



2、登山口 11時51分
車道を渡り30メートル程で散策路の入り口へ。銀色の散策路標識が立っている。



オオイヌノフグリ

陽気につられて早春の小さな花が顔を出している。



ハイキング日和で、なかなかいい感じ。 11時52分



今日は視界良好で石原町方面までクッキリ 11時55分 下界を見下ろしながら気分よく上る
今日も気まぐれコース選びで、行き当たりばったりの山歩き。スタートはしたがルートは決めて
いない。さて「今日はどんなルートで歩こうか?」と家内に相談を持ち掛ける。

そして…決まったのが、 **大平山ルート探索だった！**

通常、殆どの人がこのまままっすぐ大平山へ上って行くが、山頂到達までのこの斜面の途中、
右側の山腹に入り込む支線が3つあるのはご存じだろうか？

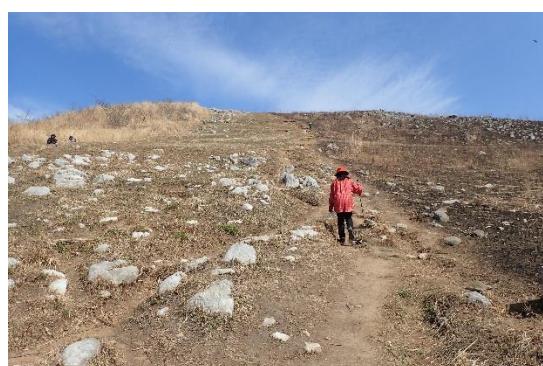
今日はその大平山斜面にある3つの支線を探索してみようと言うことになった。



見上げると急登だが、防火帯は意外と歩き易い。右は野焼きが行われた台地。 11時56分



下を見ると、今歩いて来た道と、後方に「馬の背台」が見える 11時56分



1つ目の支線を通過 11時59分

斜面の右側を気にしながら上って行くと、登山口から8分程で1つ目の支線が目に入る。野焼き後なので、すぐに見つかるが、これから夏にかけて草が茂ると、なかなか気が付かない場合もあるだろう。雲雀(ヒバリ)の囁きに気をよくして、足運びもスムーズ。



1つ目の支線 11時59分

踏み跡は細いがハッキリしている。

これを見る限りではよくわからないので、もう少し上から確認してみることに。



1つ目の支線に入り、下って行くと農道へつながっている。
それから更に下って行くと平尾石仏経由で吹上峠駐車場へ通じている。



更に歩を進め 12時08分



ジグザグに上って行く 12時09分



3、急登途中から支線へ 12時11分
遠くに大平山の山頂が顔を出した直後、2つ
目の支線分岐に差し掛かった。



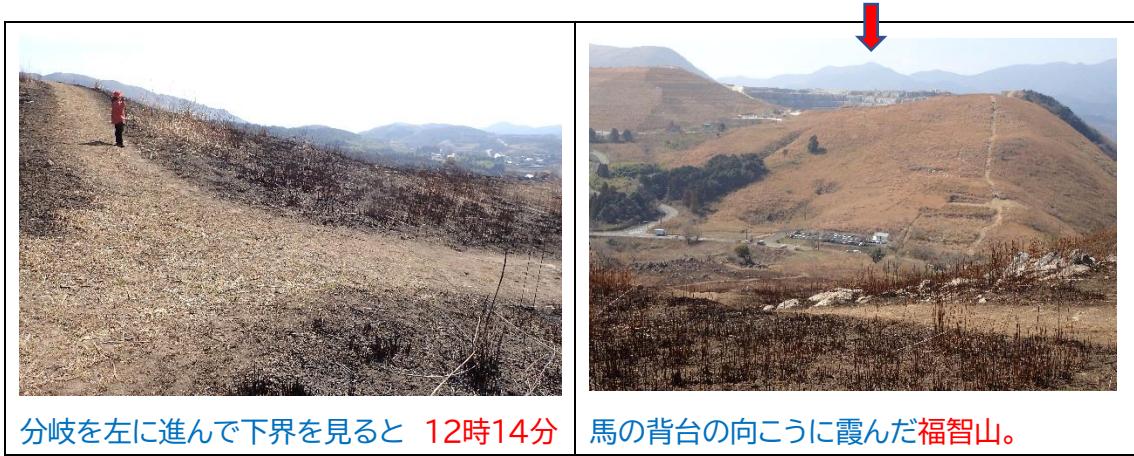
よし、この2つ目の支線を歩いてみよう！
大平山の山腹の支線を歩くのは初めてなのでちょっと楽しい気分。



山腹を横に貫く広い道を歩いて行くと…この先の道が見え隠れする 12時12分



分岐に差し掛かる。右下へ下る道は、先ほど確認した1つ目の支線へ続いていた
ここからの進行方向は、下っても仕方ないので当然左へ進む 12時14分



分岐を左に進んで下界を見ると 12時14分

馬の背台の向こうに霞んだ福智山。



更に進むとまた分岐だ！山側の左へ 12時17分 道は左に急カーブ、そして右カーブ



クネクネと曲がった道を上ってきた 12時24分 歩いて来た道を確認する



3つ目の支線入口に辿り着いた 12時25分
ここはメインルートからの3つ目の支線分岐
だった。これより山頂を目指す！



石灰岩ゴロゴロ



お天気最高で言うことなし！ 12時29分 山頂が呼んでいる

 A photograph of a signpost at the top of a hill. The sign reads "大平山山頂 586.5m" and "おおへらやま".	<p>4、大平山 12時38分 586m 最後はメインルートで山頂へ到着。何度も登つても嬉しい瞬間である。</p> <p>おおへらやま</p>
 A photograph showing a wide view of a hilly landscape. In the foreground, there are many large, light-colored rocks and patches of dry grass. In the distance, there are more hills and mountains under a clear blue sky.	 A photograph showing a view from the top of a hill. In the foreground, there are large, light-colored rocks and patches of dry grass. In the distance, there are more hills and mountains under a clear blue sky.



大平山山頂で休憩後、往路を下って先程出てきた3つ目の支線分岐まで戻ることに！

3つ目の支線分岐が見えてきた 13時03分	支線に入り来た道を戻る 13時04分
クネクネ道を今度は下る 13時06分	分岐(12時17分)に戻ってきた 13時08分

この分岐から左へ曲がり、ここからまた未踏の道に挑戦だ！ この先興味津々。



さてこの山腹を横に割って伸びる道はどこに続くのか？ 13時09分

	
<p>下へ伸びる道の分岐(その1) 13時11分 山腹を下って行くマイナーな支線があった。</p>	<p>道は下の農道に続いている 13時11分 少し立ち止ましたが、更に先へと進んだ</p>
	
<p>下へ伸びる道の分岐(その2) 13時12分 再度立ち止まりじっくり確認作業！</p>	<p>こちらの道の方が踏み後がクッキリ。結局行き着く先は下の農道の同じ地点のようだ！</p>

下に伸びる支線を確認後、また更に先へと進んだ！平坦な道は何も苦にならない。楽勝コース。



耕作、道路の拡幅、石灰岩の破壊行為禁止！



大平山山頂の真下を通る道 13時15分 羊群原のド真ん中を歩いている！



快適に歩を進めていく。絶好調！



何か立て看板があるぞ！と近づくと…



さっきと同じ看板だった 13時22分



素晴らしい羊群原を見上げる 13時26分 大平山の直下だ！



分岐に出会うが、下りの右へ 13時29分
左はたぶん大平山に通じていると思う。



今度は立て看板が倒れている 13時31分
気が付くと、岩山が目前に迫っていた！



辿り着いた登山道は、大平山から中峯に続く九州自然歩道だった。 13時31分



初めて歩いた大平山の山腹だったが、この道は今後山野草散策もいいかもしれない。



5、鞍外し 13時35分 右へ
先程の分岐からすぐの所に鉄管道への分岐がある。ここを下って茶ヶ床園地方面へ。



鉄管道へ



6、鉄管道 13時37分 まっすぐ農道へ降りて行く。その先にも蛇行しながら続く一筋の道。
その道は森の中へと入り、平尾山神社を経由し、平尾台自然観察センターへ続いている。



鉄管道に分岐 13時42分 この分岐はどちらに進んでも農道に出る。まっすぐ本線を進む。



鉄管道への分岐 13時44分 小休憩
左は茶床園地だが、右に曲がって吹上峠へ



5分休憩して出発 13時49分
農道はのんびり歩きましょう！



間違い易い分岐 13時54分 右へ
「ん？どっちだ？」 家内が思わず立ち止ま
った。写真をご覧の通り、左の道の方が大き
いので、自然と左に進みたくなるが、進行方
向は右。
「地図を確認しなくてボーっと歩いていると
道迷いの原因です」と、H師匠のお言葉がま
た頭に浮かんできた。



7、下穴 13時57分 大きな穴がポッカリと……これはドリーネです！

<p>この先の右に道を挟んで上穴がある</p>	<p>シロバナタンポポ発見！</p>
	<p>ドリーネについて</p> <p>代表的なカルスト地形のひとつで、雨水や地下水によって石灰岩が溶けてできるすり鉢状のくぼ地です。</p> <p>いろいろな形のものがありますが、中には深く落ち込んでいるものがあり危険です。</p> <p>2つ以上のドリーネが合体したものをウバーレといいます。</p> <p>(説明板より)</p>



上穴と大平山の羊群原 13時59分 下穴のような説明表示はなかった

	<p>こんなところに分岐? 14時02分 どうしても右の道が気になるので、ちょっと右を歩いてみた。残念ながら30m程進んだ所で、道は消えてしまった。あえなく撤退。</p>
<p>散策路の石碑があるので、ルートは直進とわかつっていたが…。</p>	<p>平尾石仏への分岐 14時09分 右へ 散策路のルートはこの分岐を左折。左へ進むと農道ゲートへ辿り着き、車道に出ることになる。吹上峠駐車場までは、ゲートから車道を約500m歩くことになる。 右に進めば大平山の裾野を歩き、景色も良い。平尾石仏経由で吹上峠駐車場に至る、右のコースがお薦めです。</p>



大平山山頂方面に伸びる道 14時16分
大平山を仰ぎながら歩いていると、右手に上へ伸びる道があった。
よく観察すると、先程、大平山山腹から見下ろした支線(13時12分)がここに通じているようだ。これで今後、このコースからでも、自信を持って大平山山頂を目指すことが出来る。花散策に良いコースかも知れない。



平尾石仏を目指して歩く 14時17分 吹上峠駐車場とその後ろにある馬の背台が近づいてきた。この風景を見ると、当然「馬の背台」にも行ってみたくなる。腰を下ろして相談。

	<p>右手に伸びる道が現れた 14時26分 この道は大平山へ上る際(11時59分)に見下ろした、1つ目の支線。 今日は大平山をウロウロしているが、いろんな支線が頭の中でつながり、少しだが詳しく述べたような気がして自己満足。これからは、季節や気分に合わせてルートを決めることが出来るので、ちょっと嬉しい。</p>
	 <p>昭和30年代、平尾台の各地にあった石仏を集めて祀っていると言われている。</p>
<p>8、平尾石仏 14時29分 平尾百仏とも呼ばれているそうです。</p>	
	
<p>平尾石仏から吹上峠駐車場を見ながら下ってきた。 14時31分</p>	<p>平尾台の主要道路(県道28号)に出た。車道を渡れば吹上峠駐車場。 14時32分</p>
 <p>今下ってきた農道は一般車両進入禁止！</p>	 <p>車道には、おでかけ交通(タクシー)の時刻表</p>

<p>9、吹上峠駐車場 14時34分</p> 	<p>馬の背台へ 14時39分</p> 
<p>通常ならここでゴールだが、一旦東屋で休憩後、馬の背台へ出発することにした。</p>	<p>登り口は、一度車道まで降りて、東屋の右から一直線に登って行く。</p>
	
<p>駐車場の柵を過ぎ、更にまっすぐ上って行く。山頂も見えて楽勝気分。 14時40分</p>	<p>突然開けた場所に出たが…何やら看板が立っている。嫌な予感が…。 14時42分</p>
	<p>10、馬の背台(途中で立入禁止) 14時43分 嫌な予感が的中。「ウソやろー」とボヤいても仕方ない。看板を見ると、これから先は住友大阪セメント(株)と太平洋セメント(株)の私有地との事だった。しかも、「この先は、落石防止のための突起物等があり大変危険です。」と表示されていた。馬の背台はここを山頂として、潔く諦めた。知らなかつた。残念。</p>
	



馬の背台中腹広場から下界(石原町方面)を眺めながら休憩 14時44分



馬の背台中腹広場から、今日歩いた大平山を眺める 14時52分



歩いてきた道を戻り駐車場へ 15時02分



駐車場横の東屋が見えてきた 15時03分

不完全燃焼。あつという間の馬の背台だった。



11、吹上峠駐車場 15時06分

本日の所要時間は3時間16分。

スマホの歩数計は11516歩でした。

今日は大平山の支線を中心に歩いたが、いつものメインルートでは味わえない面白さを知り、角度の違った風景を見ることが出来て楽しい山歩きだった。

今度は季節を変えて歩きたい。

無事にゴール。お疲れ様でした。